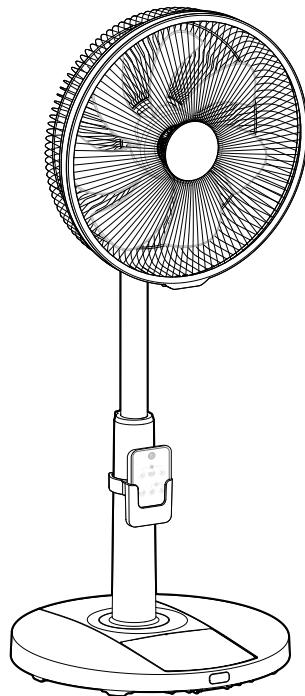


取扱説明書(WEB)

リモコン式リビング扇

型番:LFD-307L [室内・家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になることがあります。
- ・この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ご使用の前に「安全上の注意 P7」を必ずお読みください。
- ・WEBマニュアルについては、「WEBマニュアルの使いかた P2」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

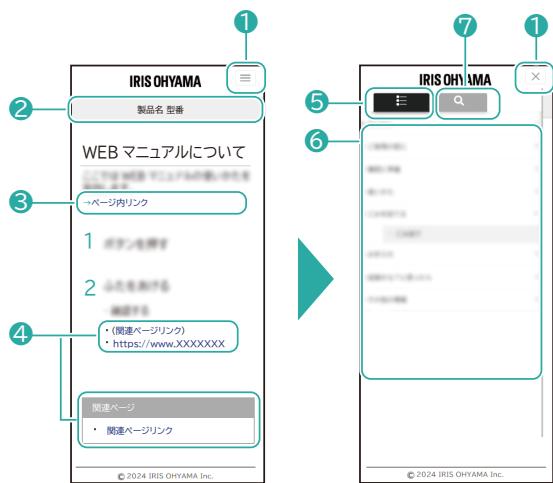
ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

- ☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。
- ✖ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願ひいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュー タブと切り替えて使用します。

■検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に.....	7
安全上の注意.....	7
各部のなまえ.....	12
操作部.....	14
リモコンについて.....	16
組み立て.....	19
設置場所.....	22
使いかた.....	23
リズム運転.....	25
おやすみ運転.....	26
首ふり.....	27
タイマー設定.....	29
高さ調節.....	30
お手入れ.....	31
前カバー・羽根・後カバーの取り外しかた.....	31
お手入れ方法.....	33
こんなときは.....	34
故障かな?と思ったら.....	34
保管のしかた.....	38
廃棄について.....	38

その他の情報.....	39
長期使用製品について.....	39
仕様.....	40
保証とアフターサービス.....	41
保証規定.....	42
お問い合わせ.....	43

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P10](#)

図記号の意味

		
注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うこと示す記号です。

	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
---	--

	<ul style="list-style-type: none">分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。取扱説明書に記載された使用開始時の組み立て、および収納時の分解以外はしないでください。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P43（ 電話をかける）にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">異常・故障時には、直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電・発煙のおそれがあります。 【異常の例】<ul style="list-style-type: none">異常な音やにおいがする電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする運転中時々電源が切れる触るとピリピリ電気を感じる羽根が勝手に動いたり、止まったりする <p>使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P43（ 電話をかける）へお問い合わせください。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグのほこりは定期的に取る ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 交流 100V 以外では使わない 火災の原因になります。 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードを束ねて使用しない 火災の原因になります。電源コードは必ずのばして使用してください。 電源コードを傷付けない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない 火災・感電の原因になります。 コンセントや延長コードの定格を超える使いかたをしない 火災の原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電やけの原因になります。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・やけど・けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 屋外では使用しない ショートによる火災・感電の原因になります。 布や紙、ビニール袋などでおおったり、ふさいだりして運転しない ほこり、粉じんの多い場所で使用しない 過熱して火災の原因になります。 スプレーをかけない(殺虫剤・整髪料・潤滑油など) 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、火の気のあるもの(たばこ・線香など)、可燃性のもののそばで使わない 火災の原因になります。 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない 不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

	<ul style="list-style-type: none">リモコンの電池は、幼児の手の届かないところに置く 誤飲の原因になります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。
 接触禁止	<ul style="list-style-type: none">前カバー・後カバーのすき間から、ものや手を入れない 感電やけがの原因になります。



誤った取り扱いをすると、人けがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- ・ **扇風機以外の用途に使用しない**
異常動作・火災の原因になります。
- ・ **業務用など家庭用以外で使用しない**
本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。
- ・ **子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない**
- ・ **乗ったり寄りかかったりしない**
- ・ **運転中、回転部に顔や体、衣服などを近づけない**
感電・けがのおそれがあります。
- ・ **引きずって移動しない**
畳や床に傷が付きます。
- ・ **長時間、風を直接体に当て続けない**
健康を害する原因になります。
- ・ **動植物に直接風を当てない**
害を与えるおそれがあります。
- ・ **本体に強く衝撃を与えない**
故障して、火災・感電の原因になります。
- ・ **羽根・前面ガード・背面ガードを取り付けずに運転しない**
火災・感電・けがの原因になります。



- ・ **水平で安定した床の上やテーブルの上で使用する**
不安定な場所で使用すると転倒して、けがや周囲の物品の破損の原因になります。
- ・ **カーテンや巻き上げひもなどを巻き込まない場所へ設置する**
周囲の物品の破損やけがの原因になります。



プラグを抜く

- ・ **使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
火災・感電の原因になります。
- ・ **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- ・ **電池を入れるときは、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、正しく入れる**
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- ・ **長期間使用しないときは電池を取り出しておく**
液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。液がもれた場合は、電池ケースについて

液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。



- ・電池を金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になります。
- ・指定以外の電池は使用しない
- ・電池を絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけど、周囲を汚損する原因になります。



- ・組み立ての際は、電源コードを部品やねじではさまないよう十分注意する
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



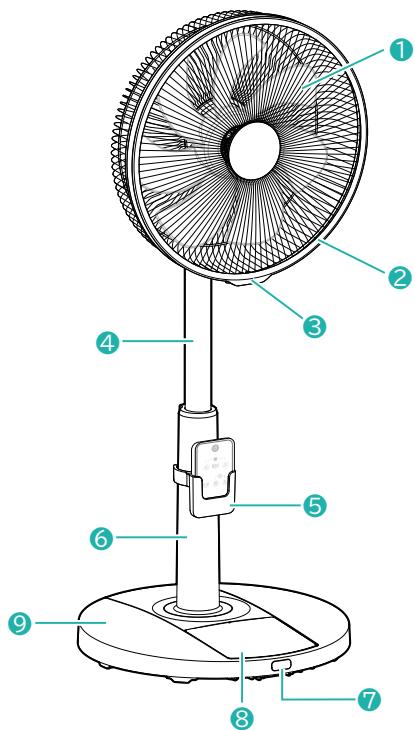
- ・羽根・前ガード・後ガードを取り付けずに、高さ調節ボタンを押したり、運転したりしない
けがの原因になります。



- ・パイプに油などを塗らない
伸縮部分が意図せずに動いたりして、けがの原因になります。

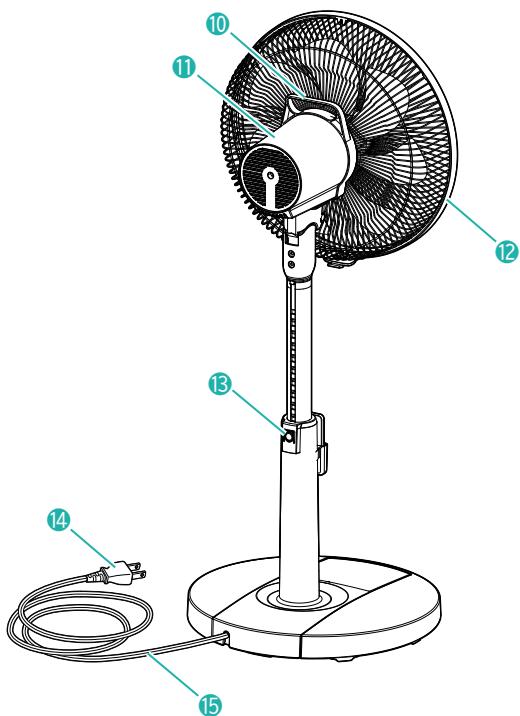
各部のなまえ

■前面



- ① 羽根
- ② 前カバー
- ③ クリップ
- ④ パイプ
- ⑤ リモコンホルダー
- ⑥ 本体
- ⑦ リモコン受光部
- ⑧ 操作パネル(→[詳細はこちら P14](#))
- ⑨ ベース

■背面



⑩ 取っ手

⑪ モーター部

⑫ 後カバー

⑬ 高さ調節ボタン

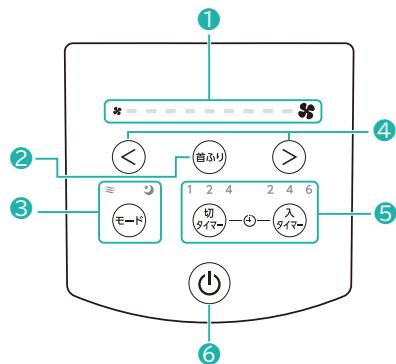
⑭ 電源プラグ

⑮ 電源コード

関連ページ

- ・[操作部 P14](#)
- ・[リモコンについて P16](#)

操作部



① 風量ランプ

9段階でランプが点灯します。

② 首ふりボタン

ボタンを押すと、首ふりします。再度ボタンを押すと、首ふりは停止します。

③ モードボタン・ランプ

運転モードを設定します。設定したモードランプが点灯します。

リズム:風量をゆっくり変化させて「自然に近い風」を再現します。リズム運転中に風量の調節はできません。リズム運転中は風量ランプは消灯します。

おやすみ:風量 4 から 15 分おきに風量を下げます。

④ 風量ボタン

ボタンを押して、お好みの風量を選びます。

⑤ 切／入タイマー・ボタン・ランプ

1/2/4 時間後に運転停止を予約します。設定した切タイマーのランプが点灯します。

2/4/6 時間後に運転開始を予約します。設定した入タイマーのランプが点灯します。

⑥ 電源切／入ボタン

ボタンを押すと電源が入り、運転が始まります。もう一度ボタンを押すと電源が切れ、運転が停止します。

関連ページ

- ・ [各部のなまえ P12](#)
- ・ [リモコンについて P16](#)
- ・ [リズム運転 P25](#)
- ・ [おやすみ運転 P26](#)
- ・ [首ふり P27](#)

- ・[タイマー設定 P29](#)

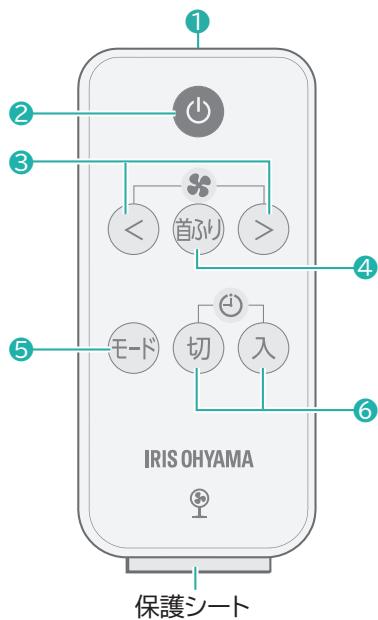
リモコンについて

電池の交換方法はこちらから

→ [電池の交換方法 P18](#)

使用開始前に電池の保護シートを引き抜いてください。

リモコンの赤外線発光部を、本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。



① 赤外線発光部

② 電源ボタン

前回使用した風量・首ふりで運転が始めます。運転中に押すと運転を停止し、電源が切れます。

③ 風量ボタン

運転中にお好みの風量を選んでください。リズム運転中は風量の調節はできません。

④ 首ふりボタン

左右の首ふりのオン／オフを切り替えます。解除するには、同じボタンをもう1度押してください。

⑤ モードボタン

運転モードを設定します。本体操作部の設定したモードランプが点灯します。

リズム：風量をゆっくり変化させて「自然に近い風」を再現します。リズム運転中に風量の調節はできません。リズム運転中は本体操作部の風量ランプは消灯します。

おやすみ：風量 4 から 15 分おきに風量を下げます。

⑥ 切／入タイマーボタン

1/2/4 時間後に運転停止を予約します。本体操作部の設定した切タイマーのランプが点灯します。

2/4/6 時間後に運転開始を予約します。本体操作部の設定した入タイマーのランプが点灯します。

関連ページ

- ・ [リズム運転 P25](#)
- ・ [おやすみ運転 P26](#)
- ・ [首ふり P27](#)
- ・ [タイマー設定 P29](#)

— 電池の交換方法

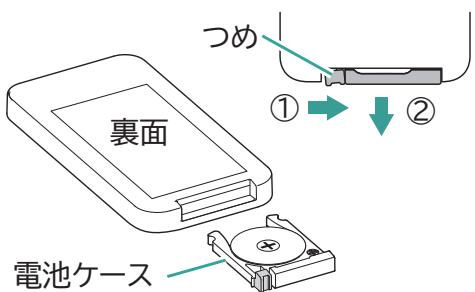
操作範囲がせまくなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、新しい電池(CR2032)に交換してください。



電池を誤って取り扱うと、破裂・液もれ・やけど・周囲の汚損の原因になります。「[電池についての注意 P10](#)」をよく読んで使用してください。

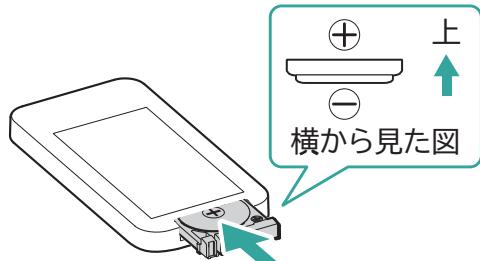
電池ケースを引き抜く
つめを矢印方向へ押さえながら、引き抜いてください。

1



新しい電池をセットする
正しい向きにセットし、リモコン本体に差し込んでください。

2



① お願い

- ・ 電池の表裏を間違えないでください。
- ・ 使い終わった電池は、電池のパッケージに記載された廃棄方法、またはお住まいの自治体の取り決めにしたがって廃棄してください。

関連ページ

- ・ [各部のなまえ P12](#)
- ・ [操作部 P14](#)
- ・ [リモコンについて P16](#)

組み立て

本製品は分解して梱包してあります。次の説明にしたがって組み立ててください。

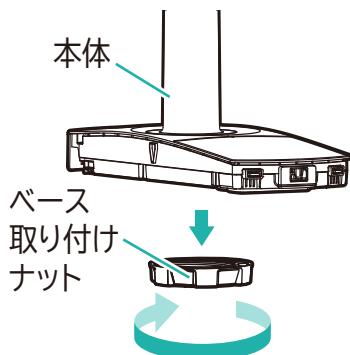
※梱包材は扇風機を収納するときに使用しますので、個装箱とともに保管してください。



- ・組み立てが完了するまでは、絶対に電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- ・本体上部およびパイプ、ベースを取り付ける際は、指のはさみ込みに注意してください。

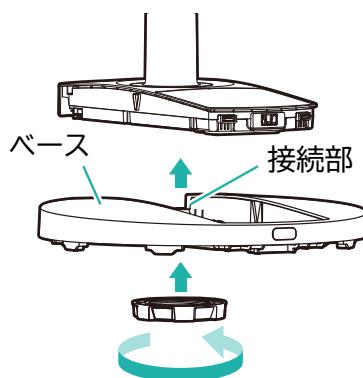
本体上部およびパイプ、ベースは、確実に取り付けられたことを確認してください。

1 本体底面からベース取り付けナットを外す



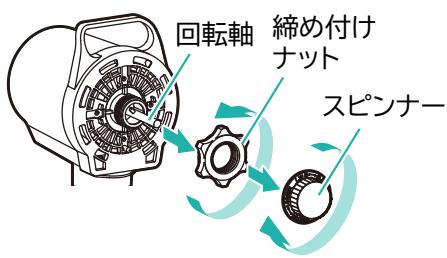
2 本体にベースをはめ込み、ベース取り付けナットを締める

- ・本体の前方をベースに引っかけ、後方のつめがパチンとはまるまで、押し込んでください。



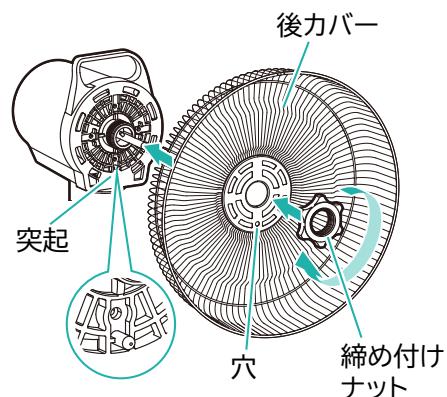
3 回転軸からスピナーと締め付けナットを外す

- ・スピナーは時計回りに回して外してください。



後カバーをはめ込み、締め付けナットで締める

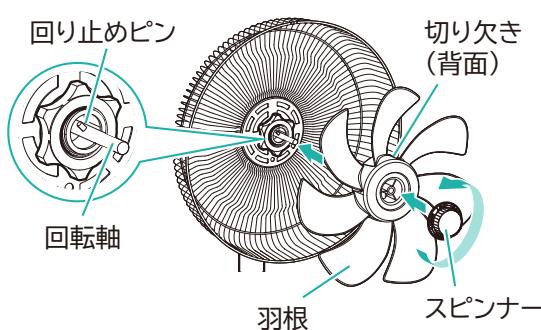
- ・後カバーの上下を合わせてはめ込んでください。
(本体の突起に後カバーの穴を合わせます。)



4

回転軸に羽根を差し込み、スピナードで締める

- ・回転軸の回り止めピンと、羽根の切り欠きを合わせてはめ込んでください。
- ・スピナードは反時計回りに回して締めてください。

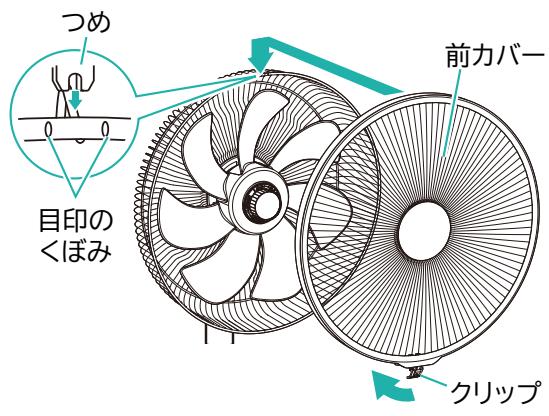


5

前カバーを取り付ける

6

- ・前カバー上部のつめを、後カバーのマークの後ろに上からはめ込み、下側をはめ込んだら、前カバーのクリップでとめます。



取り外す際は取り付けと逆の順番で取り外してください。

設置場所

ー設置についての注意

- ・直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。
変形・変色したり、誤動作したりすることがあります。
- ・ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

使いかた

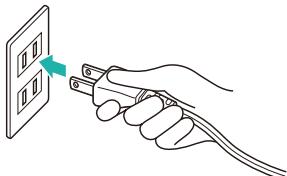
① お願い

ご使用前に前力バーを外し、スピナーカーと締め付けナットがしっかりと締まっていることを確認してください。

→[前力バー・羽根・後力バーの取り外しかた]はこちら P31

扇風機を水平で安定した場所に設置し、電源プラグをコンセントに接続する

1



② を押す

2

・電源プラグを抜かないでおくと、前回使用した設定で運転が始まります。

・リモコンの  でも操作できます。

③ 風量を選ぶ

3

・  を押して、お好みの風量を選びます。9段階でランプが点灯します。

・リモコンの   でも操作できます。

－運転を停止するには

本体の  またはリモコンの  を押してください。

・電源が切れて、運転が停止します。

関連ページ

- ・[操作部 P14](#)
- ・[リモコンについて P16](#)
- ・[リズム運転 P25](#)

- ・[おやすみ運転 P26](#)
- ・[首ふり P27](#)
- ・[タイマー設定 P29](#)
- ・[高さ調節 P30](#)

リズム運転

風量をゆっくり変化させて「自然に近い風」を再現します。

電源を入れてから、本体の  またはリモコンの  を 1 回押すと、ピッと鳴って  リズムランプが点灯し、リズム運転になります。

- ・リズム運転中に風量の調節はできません。
- ・リズム運転中は風量ランプは消灯します。

— 通常の運転に戻すには

本体の  またはリモコンの  を 2 回押すと、ピッと鳴って、通常の運転になります。(モードを切り替える前の風量で運転します。)

関連ページ

- ・[操作部 P14](#)
- ・[リモコンについて P16](#)
- ・[使いかた P23](#)
- ・[おやすみ運転 P26](#)
- ・[首ふり P27](#)
- ・[タイマー設定 P29](#)
- ・[高さ調節 P30](#)

おやすみ運転

15分おきに風量を下げる、風量2で運転と停止を繰り返します。

電源を入れてから、本体の またはリモコンの を2回押すと、ピッと鳴って おやすみランプが点灯し、おやすみ運転になります。

- ・ 風量4から、15分おきに1段階ずつ風量が下がります。
風量2まで下がると、運転と停止を繰り返します。

– 通常の運転に戻すには

本体の またはリモコンの を1回押すと、ピッと鳴って、通常の運転になります。(モードを切り替える前の風量で運転します。)

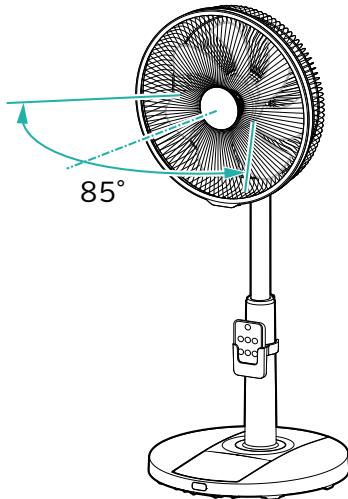
関連ページ

- ・ [操作部 P14](#)
- ・ [リモコンについて P16](#)
- ・ [使いかた P23](#)
- ・ [リズム運転 P25](#)
- ・ [首ふり P27](#)
- ・ [タイマー設定 P29](#)
- ・ [高さ調節 P30](#)

首ふり

—左右首ふり

本体の  またはリモコンの  を押すと、左右に首ふりします。



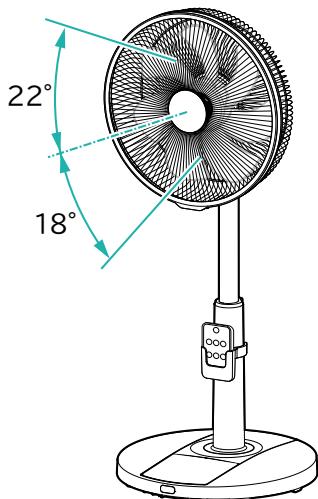
- 再度ボタンを押すと、首ふりは停止します。



注意 手動で少し左右の角度を変えることができますが、無理に角度を変えると破損するおそれがあります。

—上下方向(手動)

下向き 16°～上向き 20°の範囲で、手動で角度を調節することができます。



関連ページ

- ・[操作部 P14](#)
- ・[リモコンについて P16](#)
- ・[使いかた P23](#)
- ・[タイマー設定 P29](#)
- ・[高さ調節 P30](#)

タイマー設定

切タイマー

本体の  またはリモコンの  を押すたびに、次のようにランプが切り替わり、切タイマーがスタートします。

1(時間) → 2 → 4 → 消灯 —————
(タイマー解除)

- 切タイマー運転中は、残り時間にしたがってタイマーのランプが切り替わり、設定した時間後に電源が切れて、運転が停止します。

入タイマー

本体の  またはリモコンの  を押すたびに、次のようにランプが切り替わり、入タイマーがスタートします。

2(時間) → 4 → 6 → 消灯 —————
(タイマー解除)

- 入タイマーの動作中は、残り時間にしたがってタイマーのランプが切り替わり、設定した時間後に電源が入って、運転を開始します。
- 入タイマーの動作中は、選択された風量のランプが点灯します。
- 入タイマー動作中も、風量と首ふりの設定は変更することができます。
- 入タイマーは、電源 OFF 時か切タイマー動作中にのみ設定できます。

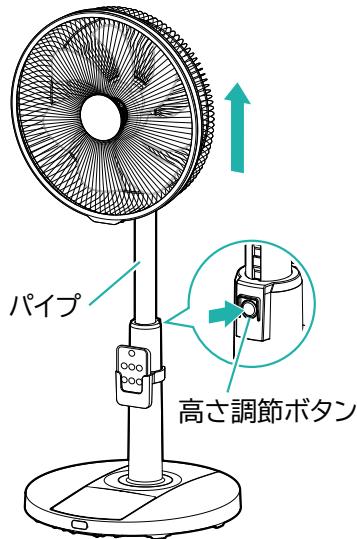
関連ページ

- [操作部 P14](#)
- [リモコンについて P16](#)
- [使いかた P23](#)

高さ調節

—高くするとき

高さ調節ボタンを押しながら、パイプを上にスライドしてください。



—低くするとき

高さ調節ボタンを押しながら、上から押し下げてください。



移動するときは、パイプを一番下まで押し下げて固定してください。

関連ページ

- ・[各部のなまえ P12](#)

お手入れ

前カバー・羽根・後カバーの取り外しかた

ほこりなどが付いたまま使用すると、故障の原因になります。

汚れ具合を見て、定期的にお手入れしてください。

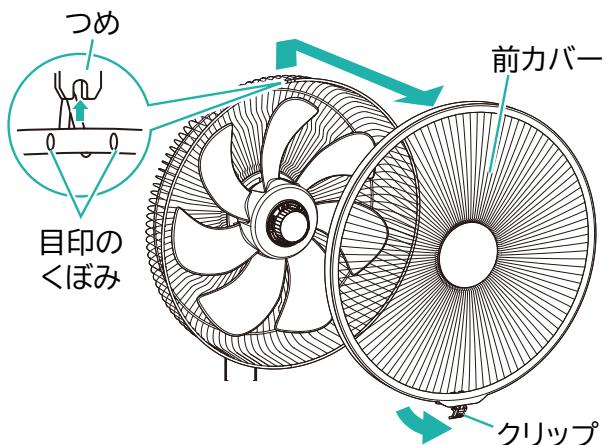


- お手入れするときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用直後はモーター部が熱くなっています。冷めたことを確認してからお手入れしてください。

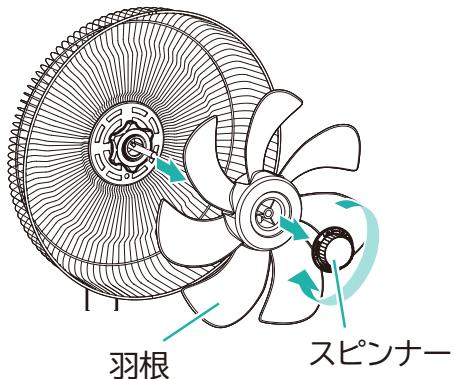
前カバー・羽根・後カバーの取り外しかた

1. 前カバー:クリップを外して、前カバーを取り外してください。

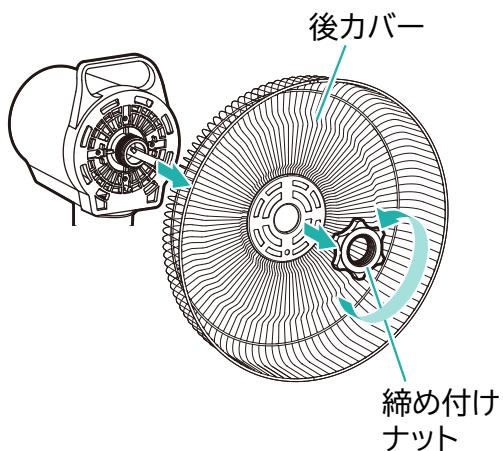
※前カバーを落として本体のベースや床などを傷つけないよう、ゆっくりと外してください。



2. 羽根:羽根を押さえながらスピンナーを時計回りに回して取り外し、羽根を取り外してください。



3. 後カバー: 締め付けナットを反時計回りに回して取り外し、後カバーを取り外してください。



取り付ける際は取り外しと逆の順番で取り付けてください。

関連ページ

- ・ [お手入れ方法 P33](#)

お手入れ方法



お手入れに、シンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ性洗剤・漂白剤などを使用しないでください。
変色・変形・変質・破損・故障の原因になります。

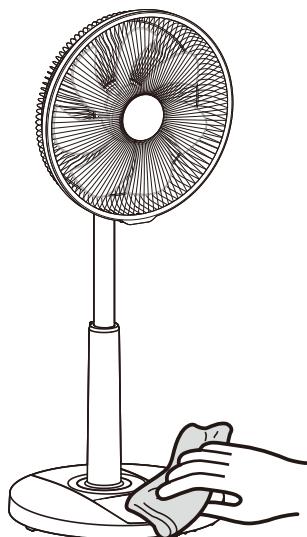
前カバー・羽根・後カバーの取り外しかた・取り付けかたはこちらからご確認ください。

→[前カバー・羽根・後カバーの取り外しかた P31](#)

■本体・ベース

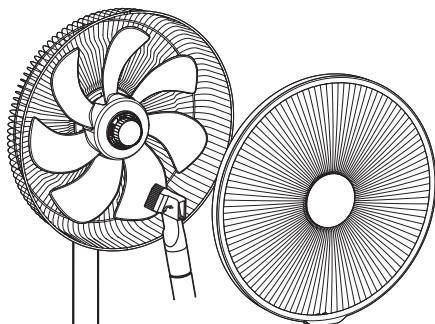
柔らかい布でから拭きする

(汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取る)



■前カバー・後カバー・羽根

前カバーを外し、掃除機などでほこりを取り除く



こんなときは 故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

— 運転しない

→電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていない可能性があります

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。(→[使いかた P23](#))

— 羽根が回転しない

→羽根が正しく取り付けられていない可能性があります

組み立ての手順にしたがって、羽根を正しく取り付けてください。(→[使いかた P23](#))

— リモコンで操作できない

→リモコンの電池が消耗している可能性があります

新しい電池に交換してください。(→[電池の交換方法 P18](#))

→電池の向き  が間違っている可能性があります

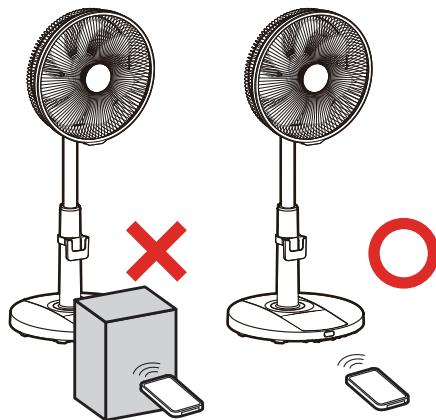
電池を正しい向きにセットしてください。(→[電池の交換方法 P18](#))

→リモコンの保護シートが引き抜かれていない可能性があります

保護シートを引き抜いてください。(→[リモコンについて P16](#))

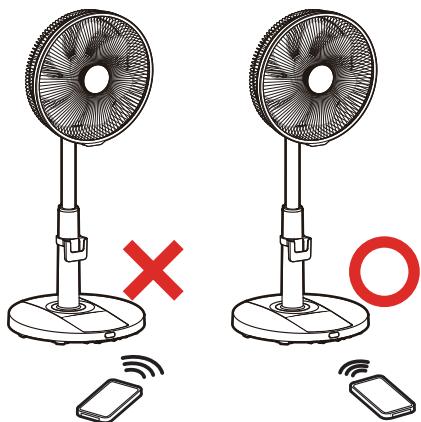
→リモコン受光部とリモコンの間に障害物がある可能性があります

障害物を取り除いてください。



→リモコンが正しい方向を向いていない可能性があります

4m 以内の距離で、リモコンの赤外線発光部を本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。



— 運転音が大きい

→設置が悪くがたついている可能性があります

水平で安定した場所に設置してください。(→[設置場所 P22](#))

→前カバー・後カバーがはまっていない可能性があります

前カバー・後カバーを正しく取り付けてください。(→[前カバー・羽根・後カバーの取り外しかた P31](#))

→スピナーと締め付けナットがゆるんでいる可能性があります

スピナー・締め付けナットをしっかりと締めてください。(→[前カバー・羽根・後カバーの取り外しかた P31](#))

— 首ふり時にカタコト音がする

→首ふり運転時にモーター特有の音が大きくなることがあります

異常ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P43\(📞 電話をかける\)](#)へお問い合わせください。



ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

長年ご使用のリビング扇の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか

- ・ボタンを押しても何も反応しない
- ・羽根が回るときに異常な音がする
- ・羽根が回るときにスピードが不規則に変化する
- ・電源コードが折れ曲がったり、破損したりしている
- ・電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする
- ・焦げたようなにおいがする



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または[アイリスコール P43](#)（ [電話をかける](#)）に点検をご依頼ください。

保管のしかた

長期間使用しない場合は、ポリ袋などをかぶせるか、組み立てと逆の手順で分解し、個装箱に収納して、湿気の少ない場所で保管してください。

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

その他の情報

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

■ 設計上の標準使用期間について

JIS 基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間を、製品本体に表示してあります。

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	温度	30°C
	湿度	65%
	設置	本書に基づく組み立ておよび設置
負荷条件		本製品の最大定格での運転
想定時間	運転時間	8h/日
	運転回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年



製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。表記の標準使用期間に満たないときでも、異常が見られたときには、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店または[アイリスコール P43](#)（ [電話をかける](#)）にご相談ください。

仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50／60Hz
定格消費電力	16W
コード長さ	約 1.5m
製品寸法(本体)	幅 360×奥行 360×高さ 680～860mm(電源コード含まず)
製品質量	約 3.2kg(電源コード含む)

※ 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

保証書は「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内においても無償保証の対象外になる場合がございます。

詳しくは[保証規定 P42](#) を参照ください。

保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P43](#)( 電話をかける)にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P43](#)( 電話をかける)にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P43](#)（ [電話をかける](#)）にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
⑥ 保証書の提示がない場合
⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール: [0120-311-564](tel:0120-311-564) (通話料無料)

9:00~17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール: [0800-170-7070](tel:0800-170-7070) (通話料無料)

9:00~17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/parts/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>